

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況

1. 第三者研究会の名称 東アジア共通 IC カード研究会（メンバー及び開催状況別紙）	
2. 第三者研究会での意見の概要及び対応	
意見の概要	意見に対する対応状況
<p>現在使用している交通系 IC カードの利便性向上や今後の展開についても触れるべきである。</p> <p>今後の東アジア交通系 IC カードの共通化検討に向けて、決済（バリュー処理）や規格の異なるカードの共通化についても中長期的な課題として捉え言及するべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の交通系 IC カードの異なる交通事業者間での IC カードの共通化、相互利用化について報告書に記述する。 ・交通系 IC カードと他分野（金融・流通分野（キャッシュカードやクレジットカード等）や企業・学校分野（入退出管理等））との融合について報告書に記述する。 ・今回の実証実験のバリュー処理については2国間でのみ使用可能となっている為、オートチャージ方式やポストペイ方式などの利用者にとってシームレスな方式についての検討が必要である旨、言及した。 ・中長期的な課題として上記バリュー処理と同様に規格の異なるカードの共通化についても利用者にとってシームレスな方式としてデュアルカードやコンパチ端末の開発などの検討が必要である旨、言及した。